おくりん 平成22年１月 No.131

議会だより

■発行 奥尻町議会 ■編集 広報編集特別委員会 ☎01397 2-3412 番 FAX01397 2-3929 番

平成22年１月14日　スキーを満喫！（桜ヶ丘スキー場）

平成２１年第４回定例会 …… 各会計補正予算、条例改正など

決算審査特別委員会 …… 平成20年度各会計決算の不認定・認定

一　般　質　問 …… 青坂賢二議員 ・制野征男議員・齋藤伸彦議員

第4回定例町議会

一般質問

後期高齢者医療制度の保険料滞納はないか

青坂　賢二　議員

質問

後期高齢者医療制度の保険料について、全道的に多額の未納が発生しているとの報道がされている。奥尻町の実態と来年度は保険料が見直しされることになるが、どのように推移するのか聞きたい。

保険料の未納はない、引き上げは極力抑えたい

新村　卓実　町長

答弁

制度が発足した平成20年度は奥尻町について未納者はゼロです。今年度については保険料の納期限までの収納率86％になっていますが、納め忘れか、制度の理解不足によるものなので、電話連絡、面談で対応しています。

来年度の保険料については、広域連合で、増加抑制策が講じられない場合、1割程度の値上げが見込まれることから、剰余金か、財政安定化基金を取り崩して保険料の引き上げを極力抑える方向で検討しています。

ごみ焼却施設廃止に向けての検討が必要

制野　征男　議員

質問

奥尻町と同程度の人口を要する自治体でごみ焼却施設を廃止した実例があり、徹底した資源ごみの分別と家庭からの生ごみの堆肥化によるものです。奥尻町においても、人件費、定期点検、運転業務の委託料で年間1億4千万円程の維持費を必要とします、ごみ焼却施設は、廃止に向けて分別、堆肥化、埋立場の活用に方

向転換するための、ち密な検討に入る時期に来ているのではないでしょうか。

また、廃材などの処理は破砕機を利用することで埋立場に搬入できるのではないですか。

ごみ問題の解決策は、今後時間をかけて検討する課題

新村　卓実　町長

答弁

新しく設置した埋立場の埋め立て部分の造成費用は1億8千7百53万円であり、防衛省の補助金は8千2百70万円です。高齢者事業団の資源ごみに混入されて、埋立場に搬入した量は昨年度は1千7百50キログラムとなっています。補助金を受けて建設した施設でも10年を経過したものは申請し承認された場合には補助金の返還は必要ありません。

現在、ごみ焼却施設において昨年の12月におこなった「ごみ質試験」では、紙・布類が約49パーセント、生ごみ類が約25パーセント、プラスチック類が約18パーセントなどとなっています。

今後の施設の維持費部分は、今年度6千4百50万円、来年度は4千5百10万円、平成23年度は5千5百30万円となっています。施設の廃止に向けての検討は、分別品目の徹底、生ごみの堆肥化、廃食油の活用、海洋漂着ごみの処理を含め、既存のごみ焼却施設、埋立処分場、産業廃棄物処理場など、島におけるごみ問題のあり方について、時間をかけ検討していく課題だと認識しています。

観光振興の具体的な策は

制野　征男　議員

質問

不況の影響により全国的に観光客の動きが希薄になっている現状から、腰をすえた観光振興策が緊急課題となっており、奥尻でも多様な施策を実施し奮闘していると評価はできるものの歴史的遺産の本格的な活用広大な敷地を利用しての花畑の造営、自然のすばらしさの発信が不十分という感想を抱いています。

乗用車、航空機の割引の実施の方向づけも含め、離島の利点である、海、山、花、パークゴルフ、フットパスを活かした振興が必要だと思われますが、具体的な充実策を検討しているのかお聞きします。

「ゆとりツーリズム」観光を進める必要がある

新村　卓実　町長

答弁

近年、奥尻はフットパス、パークゴルフといった滞在型観光につながる新しい観光スタイルが誕生し、今後は観光客の数の倍増ではなく2泊以上のリピーターが多い観光地として、ゆっくりと過ごす「ゆとりツーリズム」観光を進めていく必要があると考えています。

航空機のキャンペーン事業の割引についての来年度の実施は、財政状況を考えると難しいが、乗用車については実績を鑑み、財政状況や関係団体からの要望などを踏まえながら判断します。

国の直轄事業の町負担の解消を

制野　征男　議員

質問

全国的に自治体の財政が

厳しさを増している中で、道路や港湾など国がおこなう事業について、地元負担、いわゆる町の負担があります。

この問題として、国が地方自治体に負担金の中身や内訳を知らせずに通知だけをすること、国が負担すべき職員の給与・退職金まで含まれていること、請求額が妥当なものかどうか地方自治体に審査する権限がないこと、建設費・維持管理費が地方自治体と比べて割高になっていることが指摘されています。

奥尻町においても負担金の中身の説明を受けているのかどうか明らかにする必要があり、また解消すべきであるとの認識を町長は持っているか伺います。

国と全国知事会等の動向を見極めたい

新村　卓実　町長

答弁

本来、国で負担すべき経費についても、地方に対し財政負担を強いていることなど不合理なものとなっているとしたら、見直しが必要であると認識しています。

現在、全国知事会等で直轄事業負担金制度の改革について、国へ「提案・要望」をしているので、今後の動向を見極めていきたいと考えています。

三大祭りのあり方は

制野　征男　議員

質問

毎年おこなわれている三大祭りは、三大祭り連合会で議論され、イベントの内容、行事への配分額などが決められている仕組みが長年取られており、最近の連合会における議論の主な点は、特定の業者、商店からの寄付金の集め方にあります。

一昨年及び昨年行われた役場職員や町議による寄付の協力を依頼する行為について、また三大祭り連合会の会長を歴代町長が就任してきましたが、新村町長としての見解を伺いたい。

祭りは町民のエネルギーでおこなうのが基本だと思いますが、一世帯1日5円貯金で祭りの資金を町民が拠出するなど、特定の業者や商店からの寄付を解消する方向で検討すべきではないのかお聞きします。

町民全体の祭りの存続を望んでいる

新村　卓実　町長

答弁

三大祭りの自主財源確保のあり方については従来の形が望ましいのか、別の形が良いのかを、祭りの継続を前提に議論していくべきと考えていますが、不況という背景もありながら、こんな時代だからこそ楽しめる町民主体の祭りの存続を望んでいます。

また連合会長についてはむしろ町民から盛り上げる意識があるのであれば、会長は必ずしも町長でなくても良いと考えていますが、とにかく連合会総会をできるだけ早い時期に開催して祭りの方向性や財源確保について検討していきたい。

廃食油のリサイクル運動を町が提唱を

制野　征男　議員

質問

廃食油のリサイクル運動が全国的な運動になっており、バイオ燃料、石けんづくり、森林との交換(廃食油を50リットル程度送ることで福島県の森林一坪と交換)とその処理で知恵がだされています。奥尻町でも、旅館・民宿を含む一般家庭からも出される、てんぷら油の活用を、二〇〇三年に政府が制定した「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」の経緯からも、町としても積極的に提唱する責任があるのではないですか。

町内外の法人や個人業者が回収利用するならPRにも協力

新村　卓実　町長

答弁

てんぷら油のリサイクルについてはテレビなどの報道を通じて知っており、バイオ燃料への活用などリサイクル事業として展開していくものと思います。

奥尻町としては、石けんづくり、土地交換など、提唱できる仕組みとしては島外に搬出できるならバイオ燃料としての利用度が高いと理解しています。

有価物として、価値が低くても町内外の法人や個人業者が回収利用するのであれば町としてPRや協力をしていきたい。

職員の研修意欲を活かす施策の充実を

齋藤　伸彦　議員

質問

財政難の中、人件費の削減、職員の不補充の中でも町民のために勉強したいとの意欲を持っている職員がいます。以前は道庁への派遣や民間企業への出向が主流でしたが、いまはその余裕もないのが実態です。その中で、全国的に同じ悩みを持つ職員が集まり種々のテーマで研修する施設への参加を希望した場合の費用の補助などが必要になっているのではないでしょうか。

補助金の支給はできないが研修参加について精査を検討

新村　卓実　町長

答弁

「奥尻町人材育成基本計画」においても、自治体職員の自己啓発、人事交流などの必要性を定めています。今年度は「法務研修」「初級研修」「指導者養成コーチング研修」に1名、また、日本離島センターが費用を負担する全国レベルの職員研修に1名、渡島・檜山の職員研修に「講師」として1名派遣しています。

職員への補助金の助成はできませんが、研修参加についてはフォローアップ研修も含めて精査検討していきたい。

「ちょっと暮らし・移住」の推進を

齋藤　伸彦　議員

質問

NPO法人「住んでみたい北海道推進会議」がおこなっている季節限定の「ちょっと暮らし・移住」が注目されております。この事業の特徴は、登録した各自治体が都会の移住希望者に空き家を紹介するので、宿

泊場所として安心して滞在ができ、実際に日常生活を送るので、幅広い地元業態に消費が生まれ、まちが活性化する可能性を秘めていることです。

当町でも新しい観光スタイルである「ちょっと暮らし・移住」の研究、ＮＰＯへの登録、推進が必要と思われますが、町長の見解を伺います。

町の情報を発信し移住推進をしたい

新村　卓実　町長

答弁

当町は「北海道移住促進協議会」へ加入し他町村と移住に関する情報を交換するとともに、奥尻町の情報を発信しています。

なお、ＮＰＯ法人「住んでみたい北海道推進会議」と当町が加入する協議会が来年にも合併し同じく行動することになっています。

町民を町長室に招く、出張町長室の開催で町民の声を聞くべき

齋藤　伸彦　議員

質問

町民が3人、5人とそろえば町長室に招いて意見交換する、または町長が出向いていく「出張町長室」を月1回でも開催し職場、グループの意見を聞く機会をつくることで町政に町民の声を活かせるのではないでしょうか。

方法検討して実行していきたい

新村　卓実　町長

答弁

地域に出向いて幅広く住民の声を聞くことは必要なことだと思います。今後、どのような方法が一番よい方法なのか検討した中で実行を計画していきます。

専決処分

平成21年第4回定例町議会は、12月16日に招集され、平成21年度一般会計補正予算及び各特別会計補正予算、「奥尻町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」等を審議し、いずれも可決され、同日閉会しました。

▽平成21年度一般会計補正予算（第8号）……承認

離島に見合った活用可能な新エネルギーの導入の推進計画を策定する調査に係る予算措置として、3百38万7千円を追加し、歳入歳出予算総額を、37億1千6万6千円としました。

補正予算

▽平成21年度一般会計補正予算（第9号）…原案可決

歳入歳出予算に1億3千5百44万4千円を追加し、歳入歳出予算総額を、38億4千5百51万円としました。

補正の主な内容は、次のとおりです。

〔歳入〕

国有提供施設所在市町村助成交付金　△68万4千円
地方交付税　1億2千8百61万9千円
国庫支出金　52万円
道支出金　5百90万3千円
財産収入　32万6千円
諸収入　76万円

〔歳出〕

総務費　△3百86万円
民生費　2百64万3千円
衛生費　1億3千4百42万9千円

労働費　1百11万9千円
農林水産業費
△53万4千円
商工費　2万円
土木費　△16万2千円
消防費　△2百50万9千円
教育費　2百万7千円
諸支出金　2百29万1千円

□平成21年度バス交通事業特別会計補正予算（第1号）
……原案可決

職員手当等65万4千円など合計94万9千円を減額し、歳入歳出予算総額を7千8百11万8千円としました。

□平成21年度自動車整備工場事業特別会計補正予算（第2号）……原案可決

車両運搬車購入費5百4万円など合計3百99万2千円を追加し、歳入歳出予算総額を1億53万8千円としました。

□平成21年度あわび種苗育成センター事業特別会計補正予算（第1号）
……原案可決

修繕料51万7千円など合計65万円を追加し、歳入歳出予算総額を4千5百32万3千円としました。

□平成21年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）……原案可決

高額療養費負担金9百9万2千円など合計9百52万7千円を追加し、歳入歳出予算総額を4億9千1百9万1千円としました。

□平成21年度介護保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）……原案可決

扶助費32万5千円など合計83万5千円を減額し、歳入歳出予算総額を2億2千1百60万2千円としました。

□平成21年度介護保険介護サービス事業勘定特別会計補正予算（第2号）
……原案可決

燃料費15万5千円など合計58万7千円を減額して、歳入歳出予算総額を1千4百96万9千円としました。

□平成21年度簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）
……原案可決

委託料30万1千円など合計50万円を減額し、歳入歳出予算総額を8千6百69万3千円としました。

□平成21年度公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）……原案可決

消費税57万8千円など合計69万円を減額し、歳入歳出予算総額を1億3千2百78万9千円としました。

□平成21年度漁業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）……原案可決

職員手当等5万円など合計6万5千円を減額し、歳入歳出予算総額を2千9百11万9千円としました。

□平成21度奥尻町国民健康保険病院事業会計補正予算（第3号）……原案可決

医療機械借上料60万1千円など合計97万1千円を減額し、予算の総額を7億5千7百20万3千円としました。

条例

○奥尻町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
……原案可決

町営住宅において暴力団員を排除することにより、入居者及び周辺住民の生活の安全と平穏を確保するため、本条例を改正しました。

○奥尻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
……原案可決

国民健康保険法施行令等の一部を改正する政令の公布に伴い、関係法令に準拠し、条例の一部を改正しました。

その他

○北海道後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について

市町村合併により、紋別郡湧別町が設置されることに伴い、北海道後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数を減少させ、かつ湧別町を加入させることについて、地方自治法第291条の11の規定により議決を行いました。

○北海道市町村備荒資金組合を組織する市町村の数の増減について

上湧別町と湧別町が合併し、湧別町となったことか

ら、北海道市町村備荒資金組合を組織する市町村の数を増減しようとするため、議会の議決を行いました。

○神威脇川砂防工事（21国債）請負契約の締結について

工事の予定価格が5千万円以上であることから、「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」に基づき、議決を行いました。

入札の状況等は次のとおりです。

【契約金額】
6千9百82万5千円

【落札業者】
工藤建設株式会社

【落札率】
97.3％

人事

◇奥尻町固定資産評価審査委員会委員の選任について

……承　認

次の方が議会の承認を得て、新たに選任されました。

奥尻町字赤石168番地1
酒谷周司氏

任期　平成21年12月2日～平成22年9月30日

平成二十年度奥尻町一般会計決算不認定に

《環境センター関連の予算に異議あり・不認定に賛成6・反対3で》

※平成20年度奥尻町一般会計決算は決算審査特別委員会の決定どおり本会議においても賛成6、反対3で不認定になりました。本会議では賛成、反対の討論もあり、不認定の理由は、環境センターの運転業務、定期点検委託料における前町長の不明朗な予算提案と執行姿勢が問われてのものです。

議会運営委員会

12月11日に議会運営委員会が開かれ、16日から開催される12月定例町議会の議事運営について審議しました。

同委員会は、会期については1日とすることとし、また、意見書に関する取扱いについては今回は保留とすることなどを決定しました。

全国町村議会議長会創立60周年記念特別表彰

このたび、上野議員に、全国町村議会議長会の創立60周年にあたり、特別表彰ということで、議会議員として30年以上在職したことから表彰状が授与されることになりました。

全国町村議会議長会の記念大会が行われた11月11日付けで表彰状が出されました。その伝達式を、12月16日第4回定例町議会の開会前に行いました。

臨時議会

第8回（11月16日）

専決処分

▽平成21年度一般会計補正予算（第6号）

……承　認

国の補助10分の10である、石油製品販売業構造改善対策事業補助金として8百37万1千円を追加し、歳入歳出予算総額を、37億2百37万4千円としました。

補正予算

◇平成21年度一般会計補正予算（第7号）：原案可決

新型インフルエンザワク

チン接種費用軽減事業として、歳入で道補助金3百22万8千円などを、歳出で新型インフルエンザワクチン接種委託料として、3百69万円など、計4百30万5千円をそれぞれ追加し、予算総額を37億6百67万9千円としました。

補正の主な内容は、次のとおりです。

〔歳入〕
道支出金　3百22万8千円
繰入金　1百7万7千円

〔歳出〕
衛生費　4百30万5千円
（新型インフルエンザワクチン接種委託料3百69万円など）

条例

○町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例
……原案可決

人事院の勧告及び社会経済状況を考慮し、本年12月に支給する副町長の期末手当の支給率を、100分の232.5から、100分の220へ、6月支給分については100分の212.5から100分の195へ引き下げるため、本条例の一部を改正しました。

○教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例
……原案可決

人事院の勧告及び社会経済状況を考慮し、教育長の期末手当の支給率を、6月支給分については、100分の212.5から100分の195へ、12月支給分については、100分の232.5から100分の220へ引き下げるため、本条例の一部を改正しました。

○医師の給与等に関する条例の一部を改正する条例
……原案可決

人事院の勧告及び社会経済状況を考慮し、医師の期末手当の支給率を、6月支給分については、100分の140から100分の125へ、12月支給分については、100分の160から100分の150へ、また、勤勉手当については、100分の72.5から100分の70へ支給率を引き下げるため、本条例の一部を改正しました。

○職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
……原案可決

人事院の勧告に基づき、職員の期末手当の支給率を、6月支給分については、100分の140から100分の125へ、12月支給分については、100分の160から100分の150へ、また、勤勉手当については、100分の75から100分の70へ支給率を引き下げるため、本条例の一部を改正しました。

お　願　い

議長宛の文書や案内状などは、議長の公務日程上の調整をする必要がありますので、議長 の私宅に送付しないで、直接、議会事務局に差出人等を明記のうえ、送付してください。

なお、期日、期限等があるものについては、早めにお願いします。

◆送　付　先　奥尻町字奥尻
奥尻町議会議長あて

決算審査特別委員会11月16日開会

決 算 の 認 定

平成20年度奥尻町各会計決算は、一般会計決算については、４款衛生費の中で環境センターに係る委託料の支出が不適切であるとして、不認定となりました。その他の会計決算については認定されました。

平成20年度　奥尻町各会計決算

（単位：円）

区分 ＼ 会計名		歳入	歳出	差引残額
一般会計（不認定）		3,711,488,856	3,683,410,677	28,078,179
バス交通事業特別会計		74,774,971	74,753,880	21,091
自動車整備工場事業特別会計		94,465,281	94,155,457	309,824
あわび種苗育成センター事業特別会計		43,595,582	43,595,582	0
国民健康保険事業勘定特別会計		458,090,618	447,414,591	10,676,027
国民健康保険直営診療所特別会計		39,110,337	39,006,075	104,262
老人保健医療事業特別会計		56,632,333	56,632,333	0
後期高齢者医療事業特別会計		33,024,336	33,024,336	0
介護保険事業勘定特別会計		216,696,464	213,334,123	3,362,341
介護保険介護サービス事業勘定特別会計		14,263,413	14,263,413	0
簡易水道事業特別会計		52,906,356	52,831,937	74,419
港湾施設用地造成事業特別会計		29,985,701	29,973,996	11,705
公共下水道事業特別会計		141,873,344	141,823,070	50,274
漁業集落排水事業特別会計		27,497,920	27,459,682	38,238
国民健康保険病院事業会計	収益的収入及び支出	764,109,173	754,156,528	9,952,645
	資本的収入及び支出	5,383,000	10,237,446	△ 4,854,446

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会

※毎年12月の定例議会には奥尻高校3年生の皆さんが傍聴に来られます。
今回の傍聴者数は、生徒が26人、引率の先生が2人の合計28人でした。
いつもまばらな傍聴席がこの日は満員状態で議会も雰囲気が変わり、おかげでいつも以上に気合いの入っている議員も見受けられました。
定例会終了後、生徒から感想文が寄せられました。本当は全員の文章を載せたかったのですが、紙面の都合上、男女1名ずつしか掲載できませんでしたのでどうかご了承下さい。
私たちも大変よい刺激を受ける機会になりましたので、高校生の皆さんや先生方にまずはお礼を申し上げます。
また、傍聴に来られたみなさんは春には進学、就職等進路は別々ですが、皆さんの活躍をお祈りするとともに、議会が開かれる際はまた是非傍聴に来られますようお待ちしております。
これからの人生を応援しております。

☆町議会見学

3年　S君

今回町議会を見学して最初に吃驚したことは、議題の中に身近なところがあったところです。見学する前までは予算についてなど、難しい議題だけだと思っていましたが、実際は廃食油を利用したせっけん作りについてや、奥尻の祭についてなど、身近で理解しやすい内容も含まれていました。
また、事前学習をした時、市町村議会の討論では発言する人は少ないと聞いていましたが、奥尻町議会は頻繁に意見が飛び交い、細かな点でも疑問を抱けばすぐに質問するところを見て、奥尻に対して真剣に取り組んでいるのが伝わってきました。
これからも奥尻のために頑張っていただきたいと思いました。

☆議会見学

3年　Nさん

今までは全く政治に興味がなくニュースなどもあまり見ていませんでした。しかし、今回初めて議会見学をし、もっと政治に興味を持たなければいけないと思いました。二十歳になったら選挙権も持つし、これからは自分達が島や日本を支えていかなければいけないという自覚を持ちました。島の議員は平均的に年配の方が多く、もう少し若い方がいた方が若い人の意見を聞き、取り入れる事もできるのではないかと思いました。また女性議員がいなかったので、女性の方もいた方がいいと思いました。齋藤議員が言っていた町長が町民の意見を聞けるようにする会を設けるという案に賛成です。町長が町民の声を聞くことで刺激されることもあると思うし、町民も直接町長に言った方が思いが伝わりやすいと思います。
議会を見学し、少しですが政治に興味を持ちました。また機会があれば見てみたいと思いました。進学をし卒業後に奥尻島に戻って来ることができれば、ぜひ議員という形ではありませんが、町民の為に働きたいと思いました。

議会は町政と皆さんの茶の間をつなぐパイプです。

議会を傍聴しませんか！

手続きは簡単　傍聴者名簿に住所、氏名を記入するだけです。

☆★☆★☆　次の定例会は３月です。☆★☆★☆

議会のうごき

10 月

6～ 7日　平成２１年度第２回檜山広域行政組合議会定例会（江差町）議員２名出席
12～14日　支庁制度改革についての事前打合せ会議（江差町）議長出席
17～19日　三沢基地航空祭（青森県三沢市）議長出席

11 月

9～12日　第２８回離島振興市町村議会議長全国大会・第５３回町村議会議長全国大会（東京都）議長出席
16日　議会運営委員会開会
16日　第８回町議会臨時会開会
16日　平成２０年度決算審査特別委員会
30日　支庁制度改革についての事前打合せ会議（江差町）議長出席

12 月

11日　議会運営委員会開会
14～15日　支庁制度改革に係る意見交換会（江差町）議長出席
16日　第４回町議会定例会開催
24～25日　緊急ヘリコプター要請打合せ用務（函館市）議長出席
25～26日　平成２１年度第３回檜山広域行政組合議会定例会（江差町）議員２名出席

編集を終えて

中学生、高校生、商工会女性部など町議会を傍聴してくれることで、議会における議員の発言を直接見聞し、驚き、感銘したとの感想を寄せてもらっています。

中学生、高校生は授業の一環から、各学校では感想文を提出させているので、議会だより編集委員会は全員の提出を毎回、届けてもらっています。紙面の関係から男女１名の感想文しか掲載できないのが、もどかしいと思えるほどで、全町民に閲覧してほしいと願うのは編集委員だけではない、と自負していますけれども、議会改革の課題も数多くあるのも実態です。

全国的に議員の削減が叫ばれ、町議の中から「次回の選挙から削減を」との声が出され始めました。議論をするのはかまわないが、削減の議論だけではなく、町民の付託に応えられる議会活動、閉会中の常任委員会活動、議員の質問のあり方など、議会改革を含めた議論を深めることが、町民がもっとも望んでいることだけは忘れてはいけない、と思っています。

広報編集特別委員会（Ｙ）